

世界の流れは核兵器の禁止へ 日本政府は核兵器禁止条約に調印を！

核兵器を世界からなくす、具体的進展をはかる時

グテレス国連事務総長は、国連が定める「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」の9月26日、ニューヨークの国連本部で演説し、「たった一発の原爆がもたらした被害の実情を知り、核廃絶を目指す決意を新たにした」と8月に現職として初めて「長崎原爆の日」の式典に参列した自らの体験にふれ、「核兵器を世界から取り除く、具体的な進展をはかる時が来た」と世界によびかけました。

核兵器禁止条約発効へ、世界・アジアは動いています

人類史上初めて、核兵器に関するあらゆる活動を禁止し、違法なものと定めた核兵器禁止条約に、各国が調印を開始（2017年9月20日）して1年。調印国は69か国、批准国は19か国となっています（9月28日現在）。

アジアでは、マレーシア、★タイ、インドネシア、ネパール、★ベトナム、ラオス、ミャンマー、フィリピン、バングラデシュの9か国が調印、批准（★印）しています。

国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会（日本原水協）<http://www.antiatom.org/>
原水爆禁止大阪府協議会（大阪原水協） <http://www.osk-gensuikyo.jp/>



「ヒバクシャ国際署名」にご協力を

世界が核兵器禁止・廃絶へと大きく動こうとしている時に、日本政府は核兵器禁止条約に調印しないと断言しています。これでは被爆国日本の役割を果たすことはできません。

北朝鮮の「脅威」があるからアメリカの核兵器は必要だというのが最大の理由です。しかし、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和体制の確立にむけた対話による平和への歴史的一歩が踏みだされたいま、核兵器にたよることは明らかに間違いです。

「ヒバクシャ国際署名」をひろげ、日本政府に核兵器禁止条約への参加を迫りましょう。